グランドスラム東京 2022

新添（にいぞえ） 左季（さき） 3等陸尉

令和４年 12 月３日から４日までの間、東京体育館において柔道グランド スラム東京 2022 が行われた。自衛隊体育学校からは、第２教育課柔道班 濵田尚里１等陸尉及び新添左季３等陸尉の２名が出場し、新添３尉が金メダル、濵田１尉が銀メダルを獲得した。本大会は、オリンピック、世 界選手権、ワールドマスターズに次ぐ国際大会であるとともに、2023 世界選手権の日本 代表選考を兼ねる大会である。

圧倒的な立技

新添　全試合一本勝ち

完　全　勝　利

大会１日目、女子 70kg 級の２回戦から登場した新添３尉はオランダの選手から合技一本、スウェーデンの選手から内股一本を奪い、危なげなく準決勝に進出した。

準決勝の相手は、東京オリンピック出場者のロドリゲス選手（ベネズエラ）。ここまで足技が冴える新添 3 尉は、巧みな組み手から華麗な足捌きで内股をかけるとロドリゲス選手はクルっと回り、残り１分 40 秒で一本勝ちを収め決勝進出を決めた。

着実に国際大会で
結果を残す新添３尉

試合内容

２回戦	○一本【 合 技 】	△ポーリング K（オランダ）
準々決勝	○一本【 内 股 】	△エリクソン I（スウェーデン）
準決勝	○一本【 内 股 】	△ロドリゲス E（ベネズイラ）
決　勝	○一本【 膝 車 】	△コグラン A（オーストラリア）

決勝の相手も東京オリンピックに出場しているコグラン選手 (オーストラリア)。開始 40 秒、新添 3 尉はキレのある払い腰で相手にプレッシャーをかける。得意な背負投を狙うコグラン選手だが難なく耐えた新添 3 尉は、巧みな組み手から前後内外と多彩に足技を狙い、残り 1 分 20 秒、小外刈りで技ありを奪うがビデオ判定により取り消しとなった。しかし、新添 3 尉は攻撃のテンポをあげプレッシャーを強めると、負けじと前に出てきた相手に抜群のタ イミングで膝車をかけ、文句なしの一本で金メダル獲得を決定させた。

本大会オール一本勝ちの圧倒的な内容で優勝し、2023 年の世界選手権、そしてパリ五輪に向け大きな一歩を踏み出した新添３尉を、もう誰も止められない。

試合後、新添３尉は、「次のワールドマスターズで勝ちきって、世界選手権の代表を掴み取りたい。」と抱負を語った。

濵田　惜しくも　準優勝

大会２日目には、女子 78kg 級の２回戦に東京五輪金メダリストの濵田１尉が登場した。韓国の選手を相手に横四方固で一本勝ちし、迎えた準々決勝の相手は国内の強敵である梅木選手 (ALSOK)。お互いに得意の内股を警戒しつつ立技での攻防が続くなか、相手が足技を仕掛けようと動いた瞬間、絶好のタイミングの出足払で技ありを奪うと、間髪入れずに横四方固に移行し、合技一本で準決勝進出を決めた。

世界が認める寝技で
会場を魅了する濵田１尉

試合内容

２回戦	○一本【横四方固】	△キム J（韓国）
準々決勝	○一本【 合 技 】	△梅木真美（日本 ALSOK）
準決勝	○一本【 合 技 】	△ワグナー A（ドイツ）
決　勝	△一本【横四方固】	○高山莉加（日本 三井住友）

準決勝の相手は、東京オリンピック銅メダリストで実力者のワグナー選手 (ドイツ)。開始早々、小内刈で技ありを奪うとそのまま抑え込んで合技一本、秒殺で決勝進出を決めた。決勝の相手は、高山選手 (三井住友海上) との日本人対決となった。試合開始最初の攻防、立技から寝技に移行すると濵田 1 尉は相手を抑え込みにかかるが相手も必死に防御する。息を呑む展開が続きゴールデンスコアに突入後、相手の大外刈を腹ばいで防いだが、腕を決められたまま抑え込まれ一本負けとなり、惜しくも銀メダルとなった。78kg 級の表彰台には、濵田 1 尉を含み日本人 3 名が並んでおり、今後熾烈な代表争いとなっていくが、本大会で世界の強敵に圧勝するだけでなく、立技の成長も見せた濵田１尉らしく、自分のペースで目標に突き進んでほしい。

濵田 1 尉は、「たくさんの応援ありがとうございました。次の大会では優勝できるように頑張ります。」と語った。